

テーマ：北方領土（実践校）

## 渡島管内 八雲町立八雲中学校

### 本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、北方領土の自然や歴史などについての調べ学習や、千島歯舞諸島居住者連盟の語り部を外部講師として招聘した講話などを通して、北方領土の特色や自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

### ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### 単元の目標

外部講師の講話や調べ学習などを通して、北方領土の特色や歴史について理解を深め、北海道の現状について考えるとともに、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことができるようにする。

#### 取組の様子

##### (1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、北方領土に関する各種資料、インターネットを使って調べた内容から、生徒一人一人が北方領土の特色や歴史などについて探究課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

千島歯舞諸島居住者連盟の語り部による講話やアニメ動画「ジョバンニの島」の視聴を通して、北方領土の自然や領土問題について学びました。また、北海道総務部北方領土対策本部発行の「北方領土 知ってる？ 私達の北方領土」などの資料を参考にしたり、インターネットを活用したりして必要な情報を収集しました。

##### (3) 整理・分析

収集した情報をもとに、1人1台端末を活用し、まとめのスライドを作成するとともに、同じ課題を設定した生徒同士で共有し、生徒一人一人が課題について理解を深めました。

##### (4) まとめ・表現

各グループが作成したスライドを用いて発表し合うことを通して、北方領土の特色や歴史についての理解を深めるとともに、領土問題を身近な問題として捉え、北方領土に対するこれからの願いを考えることができました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・生徒一人一人の興味関心に合った課題設定ができるよう、1人1台端末を活用した調べ学習を位置付けました。
- ・共通点や新たな気付きを見いだすことにより、北方領土の自然や歴史などへの考えを深めることができるよう、相互で発表し合う活動を位置付けました。



【北方領土に係る調べ学習】



【交流・協議の様子】

### 実践の振り返り

- ・「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、生徒自身が設定した課題について、1人1台端末を活用して集めた情報を基に発表・交流したことにより、生徒アンケートで、「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が67%から88%に増加するなど、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことができました。
- ・ふるさと学習における系統性のある学習活動を各学年の年間指導計画に位置付けることにより、3年間を通して自分たちの住んでいる町や北海道への愛着や誇りをより一層育むことが期待できます。